

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスバレット		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 1日 ～ R7年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	R6年 12月 1日 ～ R7年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちと同じ目線に立ち、指導員であると共に子どもたちの理解者としてより良い信頼関係を築いて関わりを持っていること。	「こうしたら子どもたちは楽しんで貰えるだろうか」「何が子どもたちの関心をひくのだろうか」など、ただ活動するのではなく子どもたちの興味関心を持ちやすいものを模索し、それを組み込んだ活動や支援をおこなっています。 また、日々の子どもたちと些細な会話などを通じて、悩んでいる事や言い出せない事を引き出せるきっかけを作れるよう意識して関わっています。	今以上に子どもたちの発するサインを見逃さないよう、日々の様子や変化に意識して活動を行っていきけるよう職員全体で話し合い、子どもたちと関わっていきます。
2	職員各々の得意を活かした活動を企画していること。	美術を専攻していた、塾講師経験がある、子どもたちと打ち解けるのが得意など職員事に長けたスキルがあり、各々の良さを引き出して活動に組み入れられるよう環境づくりを意識しています。	各々のスキルのアップデートを欠かさず情報集めや教材研究を行い、活動がマンネリ化してしまうことを防いでいきます。
3	地域の施設やイベント行事に出掛ける行事を多く企画していること。	街のイベントや施設などへお出掛けし、いろんな興味関心の幅が広がるような行事を企画しています。	地域のイベントや施設などの情報収集を行い、様々な発見や気づきが得られるようなお出掛けを企画していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所や地域交流が難しく、大規模な活動を企画する事ができていない。	小さい事業所で職員数も余裕のない中での運営の為、研修への出席や活動企画に限度がある。	職員の増員や施設拡大といった全体的に事業拡大を目指し、より手広く活動ができるよう検討が必要。
2	BCPに則った避難訓練や災害に備えた準備等への意識や準備が不十分である。	法改定により、より詳細に複雑化した非常時への対応と準備への意識や活動計画が曖昧な部分が残っている。	策定したBCPを改めて見直し、施設間で情報理解を促し今後の避難訓練や準備に備える。
3			